

# 令和2年度 山北地区まちづくり協議会 通常総会 議案書



左上：集落課題の解決に向けた集落懇談会（越沢集落）

左下：小中学校海岸クリーン作戦

右上：買い物支援として「買い物ツアーおでかけさんぽぽ」

右下：学生インターンシップ（中継集落）

山北地区まちづくり協議会

～ 令和2年度 山北地区まちづくり協議会 通常総会 次第 ～

1 議 事	
第1号議案	令和元年度事業報告及び収支決算報告について…………… 2
第2号議案	令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について…… 14
第3号議案	山北地区まちづくり協議会役員の改選について…………… 22

## 第1号議案

### 令和元年度事業報告及び収支決算報告について

令和元年度事業報告及び収支決算報告について、別紙のとおり報告します。

令和 2年 4月15日 提出

山北地区まちづくり協議会 会長 板 垣 純 一

本議案については、書面表決の結果の確認をもって議決することとする。

# 令和元年度 事業報告

山北地区まちづくり協議会

## 第1 協議会の運営等にかかる活動

### (1) 協議会の会議等

#### ①監査

H31. 4. 8 出席8名（監事2名、会長、事務局長、事務局4名）事務及び会計監査

#### ②総会（1回開催）

H31. 4. 17 通常総会 出席者69名、委任状19名 事業計画・予算審議

#### ③理事会（1回開催）

R2. 2. 13 第1回 出席者48名、委任状8名 事業報告・収支決算見込み ほか

#### ④役員会（4回開催）

R1. 7. 24 第1回 事業経過、学生インターン、行事カレンダーの販売について

R1. 10. 17 第2回 事業経過、協議会拠点施設について

R2. 1. 28 第3回 理事会提案資料の検討 ほか

R2. 3. 27 第4回 総会開催方法の検討 ほか

#### ⑤委員研修会

R1. 11. 14 先進地視察研修（山形市「GLAMPiC(グランピック)」、鶴岡市「たにしの楽校」)

R1. 11. 23 「続・関係人口シンポジウム（明治大学小田切ゼミ）」

R2. 3. 8 地域づくり楽習会（コロナウイルスの影響により中止）

#### ⑥部 会(延べ13回開催)

##### 【地域コミュニティ部会】

H31. 4. 17 第1回 出席者10名 今年度の事業計画について

R1. 5. 23 第2回 出席者10名 前回部会の振り返り、プログラムの推進体制について

R1. 9. 25 第3回 出席者7名 越沢集落での取り組みの現状と今後の進め方について

R2. 1. 15 第4回 出席者8名 越沢集落での取り組みの現状と今後の進め方について

##### 【地域パートナーズ部会】

H31. 4. 17 第1回 出席者7名 今年度の事業計画について

R1. 5. 22 第2回 出席者8名 環境美化、福祉と健康まつり、買物困難者事業について

R1. 10. 8 第3回 出席者6名 環境美化、買物困難者、山北の産業体験ツアーについて

R1. 12. 26 第4回 出席者8名 今年度事業の経過、次年度事業の検討について

##### 【地域リーダーズ部会】

H31. 4. 17 第1回 出席者5名 今年度の事業計画について

- R1. 5.17 第2回 出席者 5名 集いの場づくりについて
- R1. 8. 8 第3回 出席者 5名 集いの場づくり、あいさつ運動のぼり旗について
- R1.10.25 第4回 出席者 8名 集いの場 施設整備事例の視察、検討について
- R2. 1.17 第5回 出席者 8名 集いの場づくり、次年度事業の検討について

#### ⑦広報委員会

- R1. 5.30 第1回 出席者 6名 今年度の「さんぼぼ」発行計画、第25号の内容検討について
- R1.11.15 第2回 出席者 4名 第26号の編集、第27号の内容検討について
- R2. 2.26 第3回 出席者 5名 第27号の編集、次年度の計画等について

#### ⑧まちづくり協議会助成金交付等審査会（1回開催）

- R2. 3. 4 集落の元気づくり・地域づくり団体活動支援事業の審査  
(コロナウイルスに影響により中止) ※ 書面審査

#### (2) 各種会議等への出席

- R1. 5. 9 山北地域区長連絡協議会研修会（事務局1名）
- R1. 5.15 山北地区集落公民館長会議（事務局1名）
- R1. 7. 1 チーム村上「がんばろう村上宣言」発表会（会長）
- R1. 8. 3 第1回まちづくり円卓会議（会長・副会長・事務局長ほか1名・事務局1名）
- R1. 8.24 村上市「関係人口」スタートアップ研修（会長ほか2名・事務局2名）
- R1. 8.27 日沿道山北地区活性化促進協議会総会（都合により欠席）
- R2. 2. 1 新潟県地域づくり見本市@下越（会長ほか事務局3名）

#### (3) その他

- R1.10 震災復興PRのぼり旗の販売（26件・50セット）

## 第2 まちづくり計画に基づく具体的取り組み

### 取り組み1 コミュニティの支援・連携の推進

取組方針	実施時期	事業内容等	備考
事業名			
1-1 集落活動の支援による地域活力の再生			
集落の元気づくり計画策定支援事業	通年	集落の元気づくり計画策定集落：0件	
集落の元気づくり支援事業	通年	集落等への活動助成金交付：13集落、21事業 1,773千円を交付	
集落の元気づくり支援事業（備品整備）	通年	備品活用実績：延べ32件使用	
集落懇談会の開催	10月9日 12月4日 1月22日	越沢集落で実施。具体的な支援方法等を懇談会等で聞き取りし制度へ反映する	
集落公民館活動支援事業	6月3日～14日の間交付	各集落公民館等へ活動助成金を交付 31団体2,021千円を交付	
1-2 集落、地域間連携の推進			
人材バンクの創設	通年	地域で抱える課題を、人と人とのつながりを活かして解決に結びつけるために創設 越沢集落をモデル事業として実施	
1-3 山北地区の魅力を発信するためのテーマに基づいた事業推進			

### 取り組み2 各種地域づくり団体の支援・連携の推進

基本方針	実施時期	事業内容等	備考
事業名			
2-1 地域活性化に取り組む団体の支援と育成			
地域づくり団体等活動支援事業	通年	地域づくり団体等への活動助成金の交付 7団体、8事業、752千円を交付	
山北PR活動支援事業	通年	物産の販売及び観光PR実施団体への支援 今年度助成金申請なし	
地域産物流通促進事業	5月2日 6月23日 7月15日 8月11日 9月22日 10月13日	個人、小規模農家の産物の集約、販売と、国道7号勝木地内のう回路跡地の利活用を促進するための軽トラ市の開催を支援 6月は、地震により中止 10月は、台風により中止	
福祉まつり支援事業	6月23日	「福祉と健康まつり」実行委員として参画し、まち協コーナーで花の種を配布（地震により中止）	
買物困難者支援事業	5月29日 7月29日	買い物ツアー「おでかけさんぽぽ」をモデル的に黒川俣地区で実施。イオン・マックスバリュ	

		12月6日 3月5日	での買い物と体操ストレッチなどを組合わせ 第1回8名、第2回12名、第3回11名参加 第4回（コロナウイルスの影響により中止）	
2-2 地域づくり団体と連携を推進				
	ごみゼロプロジェクト事業	6月4日	「海岸クリーン作戦」小中学校、まち協、地域住民、事業者が連携して2会場(岩崎、碁石)で海岸清掃を実施。まち協オリジナル手袋配布	
	花いっぱい運動	6月4日	クリーン作戦参加の小中学生に花の種を配布	
		6月23日	「福祉と健康まつり」にて花の種を配布（地震により中止）	
		6月24日 10月17日	保育園小中学校ほか公共施設に花苗・のぼり・立札を配布	
		11月10日	「さんぼく祭」にて花の種を配布	
	山北の産業体験ツアー	通年	来年度の産業体験会実施に向け内容を検討	

### 取り組み3 地域人材育成の推進

基本方針 事業名	実施時期	事業内容等	備考
地域づくり楽習会の開催	3月8日	山北の人材をもっと活かす方法・仕組みを考える（コロナウイルスの影響により中止）	
先進地視察研修	11月14日	山形市「GLAMPiC(グランピック)」、鶴岡市「たにしの楽校」を視察 14名参加	
協議会活性化事業	通年	山北地区まちづくり協議会活性化事業実施要綱に基づき各部会での研修等に活用	
おしゃべり会議、フリートーク等の集いの場づくり	9月29日	百姓隊シェアハウスDIY修繕を実施 5名参加	
	10月25日	荒川まち協拠点「あら、ほっ」視察 4名参加	
3-2 地域の未来を担う子どもたちの育成			
山北地区地域の担い手育成事業	通年	山北中学校区郷育事業と連携し、地区内各小中学校の事業を支援 全4事業	
地域の担い手のまちづくりへの参画支援事業	7月～9月	あいさつ運動標語募集とのぼり旗を作成し学校や各集落に配布	

#### 取り組み4 永続的な活動を目指した組織運営

基本方針 事業名	実施時期	事業内容等	備考
4-1 地区住民が結集した自主事業の実施による絆の強化			
百姓やってみ隊推進事業	5月～3月	市の事業を受託し、週末を中心とした全10回の農作業と各種体験活動を実施。市外と山北地区の参加者延べ143名参加（詳細は別紙）	
学生インターンシップ事業	7月～8月	首都圏及び新潟市から大学生3名が中継集落に1カ月間滞在。大学生目線での冊子づくりに取り組み、中継集落全戸に配布	
4-2 地区のつながりを育み活動を発信するための情報提供			
まちづくり通信の発行	年3回	まちづくり通信を発行し、山北地区全戸へ配布（村上市HP及びまち協Facebookにも掲載） 第25号9/15、第26号12/15、 第27号3/15	
集落行事カレンダーの発行	3月15日	集落活動等の情報を共有するため「さんぽく行事カレンダー」を3月15日に発行	
ホームページ、SNSを活用した情報発信	通年	現行のホームページの活用を進め、SNSでの情報発信も行った	
4-3 活動拠点の整備を推進			
拠点整備のための基金を積み立て	通年	本年度は新規積立なし	



# 令和元年度百姓やってみ隊推進事業報告

山北地区まちづくり協議会

## 第1 年間計画に基づく活動

### 1. 実施期間

令和元年5月から令和2年3月まで

※ 5月～7月、R2.2月～3月：山北地区まちづくり協議会事業

8月～R2.1月：村上市から受託事業（総務省「関係人口創出・拡大事業」モデル事業）

### 2. 予算額

1,399千円

### 3. 構成員

- ・百姓やってみ隊隊員 山北地区外11名・山北地区内4名
- ・さんぽく暮らし応援プロジェクトメンバー 10名

### 4. 運営・管理

- ・まち協専従事務局員 1名
- ・専用地畑・活動拠点施設管理 5名

### 5. 定期活動

回数	期日	実習	活動内容	参加者数
第1回	5月4日(土)	ガイダンス 農業体験(畑)  交流会 生業体験(集落)	・年間計画や施設等の説明 ・耕起、畝立、大豆の種蒔き、サトイモの植付け、マイ畑作業 ・畑でBBQとカレーライスで昼食交流会 ・府屋集落散策	延べ14人
	5月5日(日)	生業体験(自然)	・日本国登山 ・「小俣宿でいっぷく」散策	
第2回	5月18日(土)	農業体験(畑) 生業体験(特産品) 生業体験(集落)	・さつまいも苗植付け、トウモロコシ種蒔き ・塩づくり体験 ・新潟・山形県境散策	延べ15人
	5月19日(日)	農業体験(田)	・大毎田植えツアー、昼食交流会参加	
第3回 (中止)	6月22日(土)	農業体験(畑)	・玉ねぎ収穫 ・長ネギの植付け ・さんぽく軽トラ市出店準備(袋詰め、植付)	6/18山形県 沖地震発生 のため中止
	6月23日(日)	農業体験(畑) 生業体験(自然)	・さんぽく軽トラ市出店&福祉と健康まつり ・笹川流れ遊覧船乗船、散策	

第4回	7月13日(土)	農業体験(畑)	・焼畑準備(杉の葉採集、畑へ運搬) ・そば種まき ・ブロッコリー種まき	延べ17人
	7月14日(日)	生業体験(集落)	・大每名水まつりにスタッフとして参加 (5名スタッフとして参加)	
第5回	8月3日(土)	農業体験(畑) 生業体験(自然)	・焼畑、赤カブ種まき ・小俣川でカジカ捕り	延べ26人
	8月4日(日)	生業体験(自然)	・林業体験 ・アロマオイル作り	
第6回	8月31日(土)	農業体験(畑)	・大根、玉ねぎ種まき ・キャベツ、白菜苗植付け・	延べ14人
	9月1日(日)	生業体験(集落)	・中継集落風神祭参加 ・こだわりの畳について講話&小物作り	
番外編	9月14日(土)		・宮堅八幡宮祭礼 神輿担ぎ手	参加者無し
第7回	10月12日(土) ※台風により14日に変更	農業体験(畑) 生業体験(特産品)	・サツマイモ、赤カブ収穫、そば脱穀 ・赤カブ漬け体験(千切り漬け)	延べ11人
	10月13日(日) ※台風により中止	農業体験(田)	大毎収穫祭 稲刈りツアー参加	
	10月14日(祝)	農業体験(畑) 生業体験(特産品)	・サツマイモ、赤カブ等収穫、そば脱穀 ・赤カブ漬け体験(千切り漬け)	
第8回	10月26日(土)	生業体験(特産品) 農業体験(畑) 生業体験(自然)	・羽越しな布産地見学 ・長ネギ、落花生収穫 ・海釣り体験	延べ8人
	10月27日(日)	生業体験(集落)	・中継もみじマラソン大会参加	
第9回	11月9日(土)	農業体験(畑)	・大根、長ネギ収穫 ・さんぼく軽トラ市出店準備	延べ10人
	11月10日(日)	農業体験	・さんぼく軽トラ市出店(さんぼく祭)	
第10回	12月7日(土)	生業体験(水産加工体験) 農業体験(畑)	・アジの開き、イカの塩辛作り体験 ・長ネギ、白菜、ブロッコリー収穫	延べ26人
	12月8日(日)	生業体験(郷土料理)	・手打ちソバ作り体験	
番外編	2月2日(中止)		・大毎鯉山清水水汲みツアー	—
番外編	2月16日(日)		・中継雪ほたる	延べ2人

## 第2 おためし移住体験

### 1. 利用実績

期日	利用目的	利用内容	参加者数
11月23日(土)	・田舎暮らし体験	・村上市「関係人口」シンポジウム参加	地区外6人
11月24日(日)	・シンポジウム&交流会	・明治大学小田切ゼミとの交流会参加	地区内4人

令和元年度 収支決算

山北地区まちづくり協議会

【収入の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	説明
1. 繰越金	2,229,393	2,229,393	0	前年度まちづくり協議会繰越金
2. 補助金等	9,054,000	9,053,000	-1,000	
1 まちづくり交付金	9,054,000	9,053,000	-1,000	村上市から
2 事業補助金	0	0	0	
3. 会費等	0	126,500	126,500	
1 賛助会費	0	0	0	
2 事業負担金等	0	126,500	126,500	まち協備品、百姓隊活動拠点使用負担金
4. 事務職員負担金	0	0	0	
5. 受託金	0	655,710	655,710	村上市から百姓やってみ隊委託費
6. 繰入金	31,300	289,492	258,192	関係人口構築基金繰入、百姓隊会計繰入、積立金利息
7. 雑収入	3,107	71,775	68,668	「がんばろう山北」のぼり旗・まち協手袋・行事カレンダー売上、預金利息等
合計	11,317,800	12,425,870	1,108,070	

【支出の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	説明
1. 運営費	2,117,000	1,909,803	-207,197	
1 社会保険料	194,000	189,389	-4,611	専従事務局員社会保険料
2 賃金	1,247,000	1,202,070	-44,930	専従事務局員賃金
3 報償費	207,000	207,000	0	会長ほか役員の事業参加等のガソリン代等実費弁償分として
4 旅費	0	0	0	
5 交際費	10,000	3,900	-6,100	慶弔費
6 消耗品費	79,000	57,662	-21,338	コピー用紙、事務用品、図書等
7 会議費	67,000	28,080	-38,920	会議時お茶代
8 印刷製本費	44,000	33,330	-10,670	封筒印刷代
9 通信運搬費	113,000	67,930	-45,070	会議案内等郵送料
10 手数料	13,000	0	-13,000	
11 使用料及び賃借料	86,000	74,442	-11,558	インターネット回線使用料
12 備品購入費	0	0	0	
13 負担金及び交付金	30,000	20,000	-10,000	日沿道活性化協議会負担金
14 委託料	0	0	0	
15 保険料	27,000	26,000	-1,000	ボランティア活動保険料

2. 事業費	8,953,000	7,954,438	-998,562	
1 コミュニティ支援・連携の推進	3,951,000	3,801,279	-149,721	
1-1 集落活動支援による地域力の再生	3,890,000	3,794,000	-96,000	集落の元気づくり支援、公民館活動支援
1-2 集落、地域間連携の推進支援	60,000	7,279	-52,721	人材バンクの創設に向けた取り組み
1-3 山北地区の魅力を再発信するためのテーマに基づいた事業推進	1,000	0	-1,000	
2 各地域づくり団体の支援・連携の推進	2,110,000	1,268,491	-841,509	
2-1 地域活性化に取り組む団体の支援と育成	1,860,000	1,041,939	-818,061	地域づくり団体支援、地域産物流通促進、買物困難者支援
2-2 地域づくり団体との連携推進	250,000	226,552	-23,448	環境美化活動
3 地域人材育成の推進	1,242,000	855,566	-386,434	
3-1 地域を担う人材を育成	800,000	588,955	-211,045	先進地視察研修、集いの場づくりに関する事業等
3-2 地域の未来を担う子どもたちの育成	442,000	266,611	-175,389	地域の担い手育成事業、まちづくりへの参画支援事業
4 山北地区まちづくり協議会の安定運営	1,650,000	2,029,102	379,102	
4-1 地域住民が結集した自主事業の実施による絆の強化	1,139,000	1,507,960	368,960	百姓やってみ隊推進事業、学生インターンシップ事業
4-2 地区のつながりを育み活動を発信するための情報提供	511,000	521,142	10,142	まちづくり通信発行、行事カレンダー発行
3. 積立金	100,000	270,000	170,000	関係人口構築事業推進基金
4. 繰出金	1,300	437	-863	積立金利子を積立金へ繰出
5. 予備費	146,500	113,070	-33,430	震災復興PRのぼり旗
合計	11,317,800	10,247,748	-1,070,052	

収入	12,425,870	
支出	10,247,748	
差引	2,178,122	残金を次年度へ繰り越します

【積立金】

単位：円

名称	前年度末 現在高	決算年度中 増減額	決算年度末 現在高	説明
拠点施設整備事業積立金	5,003,158	428	5,003,586	
百姓隊施設整備積立金	435,014	4	435,018	
関係人口構築事業推進積立金	800,000	5	800,005	R1. 8. 2まち協会計に270,000円繰出 R2. 3. 31まち協会計から270,000円繰入

令和元年度 収支決算

百姓やってみ隊

【収入の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	説明
1. 繰入金	1,139,000	1,142,172	3,172	まちづくり協議会会計から
2. 補助金等	0	0	0	
1 事業補助金	0	0	0	
3. 会費等	220,000	167,000	-53,000	
1 会費	100,000	47,000	-53,000	参加費
2 事業負担金等	120,000	120,000	0	地域おこし協力隊活動拠点 使用負担金
4. 事業収入	40,000	43,800	3,800	軽トラ市等野菜売り上げ
5. 雑収入	0	2	2	預金利息
合計	1,399,000	1,352,974	-46,026	

【支出の部】

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	説明
1. 運営費	0	0	0	
1 事務局員負担金	0	0	0	
2. 事業費	1,319,000	1,333,919	14,919	
1 活動実習費	1,134,000	1,191,599	57,599	
1-1 活動コーディネート及び実習地管理作業報償費	563,000	535,293	-27,707	実習地除草作業、活動拠点施設清掃費
1-2 実習地借上げ謝礼	18,000	18,000	0	実習地の借上げ料、水利利用謝礼
1-3 活動拠点施設	330,000	378,920	48,920	施設賃借料、水道光熱費、電気料、光回線等
1-4 指導員謝礼	0	0	0	
1-5 機器損料	9,000	12,000	3,000	軽トラ借上げ
1-6 需用費	135,000	175,046	40,046	肥料、種苗、資材、燃料等
1-7 修繕費	0	0	0	
1-8 原材料費	0	0	0	
1-9 役務費	75,000	70,340	-4,660	隊員活動保険、拠点施設保険、郵送用切手
1-10 負担金	4,000	2,000	-2,000	軽トラ市出店料
1-11 備品購入費	0	0	0	
1-12 委託料	0	0	0	
2 生業体験	185,000	142,320	-42,680	
2-1 体験料・指導員謝礼	158,000	94,750	-63,250	塩づくり体験、田植え体験、林業体験、海釣り体験等
2-2 材料費	17,000	37,570	20,570	海釣り体験、そば打ち体験等材料費
2-3 機械損料	10,000	10,000	0	車輛借り上げ
3 繰出金	30,000	19,055	-10,945	軽トラ市野菜売り上げ
4 予備費	50,000	0	-50,000	
合計	1,399,000	1,352,974	-46,026	

収入	1,352,974
支出	1,352,974
差引	0

# 監 査 報 告 書


山北地区まちづくり協議会長 様

令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）山北地区まちづくり協議会の事業報告、収支決算、収入・支出調書、出納簿、預金通帳並びに関係書類を監査した結果、適正に処理、記載されていると認めたので、報告します。


以 上

令和2年4月7日

監事

渡辺 等 

監事

菅原 義栄 

## 第2号議案

令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

令和2年度事業計画及び収支予算について、別紙（案）のとおり定めたいので承認を求めます。

令和2年 4月15日 提出

山北地区まちづくり協議会 会長 板垣 純一

本議案については、書面表決の結果の確認をもって議決することとする。

# 令和2年度 事業計画（案）

山北地区まちづくり協議会

## 1 協議会運営等に関する活動

### （1）総会（1回開催）

R2年4月中旬 通常総会 事業・決算報告、事業計画・予算審議、役員改選 ほか  
※R2.4.15付け「新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる令和2年度山北地区まちづくり協議会通常総会の書面議決について」に基づく書面による審議

### （2）理事会（1回開催）

R3年2月上旬 事業・決算報告、事業計画・予算の検討 ほか

### （3）役員会（4回開催）

R2年6月上旬 事業展開、今後のスケジュール検討 ほか  
R2年9月下旬 事業経過報告、懸案事項の検討 ほか  
R3年1月下旬 理事会提案資料の検討 ほか  
R3年3月上旬 総会提案資料の検討 ほか

### （4）監査（1回開催）

R2年4月7日 事務及び会計監査

### （5）まちづくり協議会助成金交付等審査会（1回開催）

R3年3月上旬 集落の元気づくり・地域づくり団体等支援事業の審査（R3年度分）

## 2 まちづくり計画に基づく活動

### （1）コミュニティの支援・連携の推進

コミュニティ活動の充実を図り、互いに手を携え連携できる地域づくり

○集落活動の支援による地域力の再生

- ・集落の元気づくり支援事業
- ・集落懇談会の開催
- ・集落公民館活動支援事業

○集落、地域間連携の推進支援

- ・人材バンクの創設

○山北地区の魅力を再発信するためのテーマに基づいた事業推進

### （2）各種地域づくり団体の支援・連携の推進

地域づくり活動を行う団体等を支援または育成するとともに、各団体が連携できる地域づくり

○地域活性化に取り組む団体の支援と育成

- ・地域づくり団体等活動支援事業
- ・山北PR活動支援事業



- ・地域産物流通促進事業  
さんぼく軽トラ市の開催支援等
- ・福祉まつり支援事業
- ・買物困難者支援事業
- 地域づくり団体との連携を推進
  - ・環境美化活動推進事業  
小中学校クリーン作戦、花いっぱい運動等
  - ・山北の産業体験ツアー  
産業体験会等の開催

### (3) 地域人材育成の推進

#### 地域づくり活動等の推進による地域を担う人材を育成

- 地域を担う人材を育成
  - ・地域づくり楽習会の開催
  - ・先進地視察研修
  - ・協議会活性化事業
  - ・おしゃべり会議、フリートーク等の集いの場づくり
- 地域の未来を担う子どもたちの育成
  - ・山北地区地域の担い手育成事業  
山北中学区郷育事業等支援等
  - ・地域の担い手のまちづくりへの参画支援事業  
あいさつ運動のぼり旗整備

### (4) 山北地区まちづくり協議会の安定運営

#### 永続的な活動を目指した組織運営

- 地区住民が結集した自主事業の実施による絆の強化
  - ・百姓やってみ隊推進事業
  - ・学生インターンシップ事業
- 地区のつながりを育み活動を発信するための情報提供
  - ・まちづくり通信の発行
  - ・集落行事カレンダーの発行
  - ・ホームページ、SNS を活用した情報発信
- 活動拠点の整備を推進

## 3 その他

### (1) 各種会議等への出席

- 地域まちづくり組織情報交換会（役員、事務局）
- 日沿道山北地区活性化促進協議会への出席（会長ほか4名）

### (2) その他

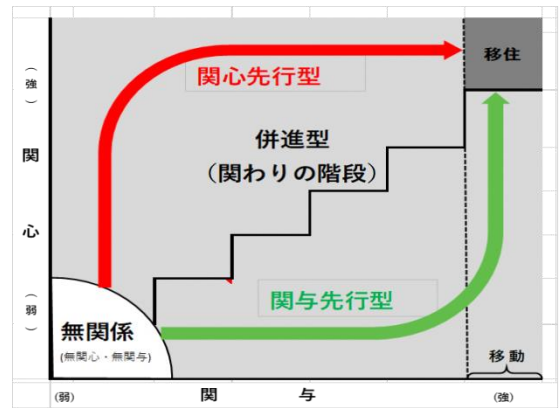
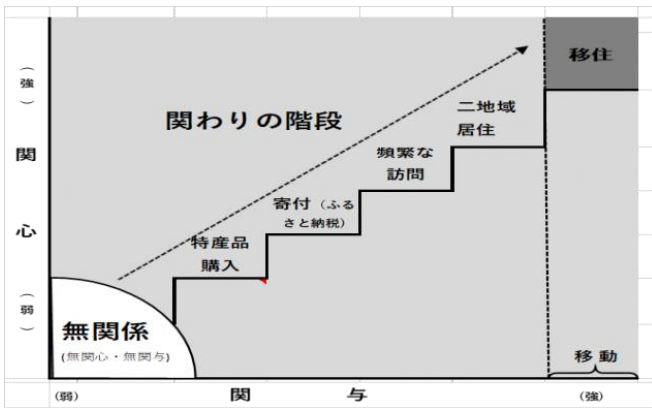
- 各種地域づくり団体等の視察受け入れ（役員、事務局）

# 令和2年度百姓やってみ隊推進事業 実施計画（案）

## 1 実施主旨

百姓やってみ隊では、これまでの取り組みを継続・発展させ、都市部等からの参加者に、農業体験を切り口として山北地区に関心を持ってもらい、年間を通じた体験交流型の活動等を通じて、集落や住民との多様な関りを持つ関係人口へと導く窓口機能を担います。これにより、山北地区への「関心」「関与」を並行して強めるとともに、年間を通じた頻繁な訪問より、二地域居住や移住へと向かう段階、いわゆる「関わりの階段」の段差を低くすることを目指します。活動には、山北地区の住民にも活動に参加してもらうこと、また地域において行う活動や交流を通じて、地域への誇りの醸成についても取り組んでいきます。

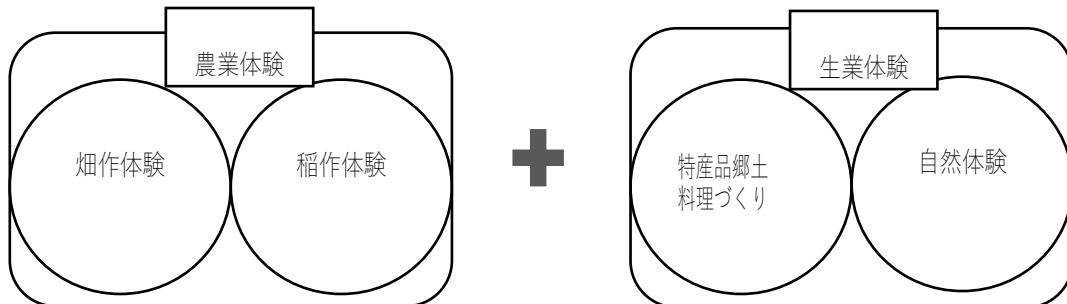
- ・集落や住民との多様な関りを持つ関係人口へと導く窓口機能
- ・二地域居住や移住へ向かう段階を示すいわゆる「関わりの階段」の段差を低くする
- ・地域への誇りの醸成



図：明治大学農学部小田切教授「地域づくりの集い」資料より

## 2 活動概要

百姓やってみ隊では、「さんぼく暮らし半農半 X(エックス)\*」をコンセプトに、農業体験のほか、生業体験として、伝統文化、人や風土、自然に触れる体験を取り入れた体験交流型の活動を行います。また、おためし移住体験として山北地区に短期滞在することも勧奨します。



※ 半農半 X(エックス): 個人でできる大小様々な複数の仕事で生計を立てる新しいライフスタイル。自分や家族が食べる分の食料は小さな自給農でまかない、残りの時間「X」は自分のやりたいことに費やすという生き方です。農のある暮らしをしながら、自分が大切だと思うこと、好きな仕事をすることで、精神的に満たされるという、この半農半エックスという暮らし方は、収入が減少しても心豊かな暮らしをしたいという人たちから共感を集めています。

## 農業体験

農業体験では、百姓やってみ隊畑での野菜の栽培や、焼畑などに取り組み、収穫することの喜びや自分で栽培したものを食べる楽しみなどを感じていただきます。田植え・稲刈りでは、集落の体験交流イベントへ参加し、人のつながりを創出します。また、さんぽく軽トラ市に出店し、地域の方と触れ合いながら、新鮮で安心安全な野菜を販売します。



## 生業体験

生業体験では、笹川流れ波物語りの体験メニューを利用した特産品や郷土料理づくり、地域の方の指導による林業体験、集落の体験交流イベントへの参加を通じて、山北地区の伝統文化、人や風土、四季折々の自然を感じられる体験や活動に取り組みます。

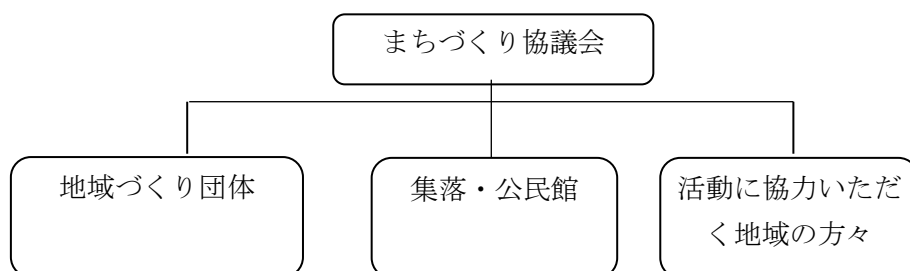


### 3 募集概要

- (1) 募集対象：村上市外または山北地区に住所があり、次のようなことに興味のある方  
「田舎暮らし」「地域資源を活かした起業」「豊かな自然環境」「人との交流」
- (2) 募集人員：村上市外 10 人 山北地区内 10 人
- (3) 参加費：1回（2日間）の活動に付き 1,000 円
- (4) 日程回数：令和 2 年 5 月～12 月 2 日間×8~10 回（予定）

### 4 実施体制

まちづくり協議会が窓口となり、地域づくり団体や集落・公民館、活動にご協力いただく地域の方などで構成する「さんぽく暮らし応援プロジェクト」を組織し、活動します。



## 令和2年度 収支予算（案）

山北地区まちづくり協議会

【収入の部】

単位：円

項目	本年度	前年度	増減	説明
1. 繰越金	2,178,122	2,229,393	-51,271	9,053,000×25%以内
2. 補助金等	9,033,000	9,054,000	-21,000	
1 まちづくり交付金	9,033,000	9,054,000	-21,000	村上市から
2 事業補助金	0	0	0	
3. 会費等	0	0	0	
1 賛助会費	0	0	0	
2 事業負担金等	0	0	0	
4. 事務職員負担金	0	0	0	
5. 受託金	0	0	0	
6. 繰入金	91,000	31,300	59,700	積立金利子1,000円、百姓やってみ隊推進事業40,000円、関係人口基金から50,000円
7. 雑収入	878	3,107	-2,229	預金利息
合計	11,303,000	11,317,800	-14,800	

【支出の部】

単位：円

項目	本年度	前年度	増減	説明
1. 運営費	2,771,000	2,117,000	654,000	
1 社会保険料	190,000	194,000	-4,000	専従事務局員社会保険料
2 賃金	1,347,000	1,247,000	100,000	専従事務局員賃金
3 報償費	207,000	207,000	0	会長ほか役員の事業参加等のガソリン代等実費弁償分として
4 旅費	0	0	0	会議等出席旅費
5 交際費	10,000	10,000	0	慶弔費
6 消耗品費	61,000	79,000	-18,000	印刷用紙、コピー用紙、プリンタトナー等
7 会議費	67,000	67,000	0	会議時お茶代等
8 印刷製本費	44,000	44,000	0	封筒印刷代
9 通信運搬費	114,000	113,000	1,000	会議案内等郵送料等
10 手数料	2,000	13,000	-11,000	事業支援金振込手数料等
11 使用料及び賃借料	86,000	86,000	0	インターネット回線使用料
12 備品購入費	0	0	0	
13 負担金及び交付金	20,000	30,000	-10,000	会議負担金等
14 委託料	0	0	0	
15 保険料	27,000	27,000	0	ボランティア活動保険
16 活動拠点施設費	596,000	0	596,000	活動拠点施設水道光熱費、施設賠償保険料等

項目	本年度	前年度	増減	説明
2. 事業費	8,351,000	8,953,000	-602,000	
1 コミュニティ支援・連携の推進	3,951,000	3,951,000	0	
1-1 集落活動支援による地域力の再生	3,890,000	3,890,000	0	集落の元気づくり支援、公民館活動支援
1-2 集落、地域間連携の推進支援	60,000	60,000	0	人材バンクの創設に向けた取り組み
1-3 山北地区の魅力を再発信するためのテーマに基づいた事業推進	1,000	1,000	0	
2 各地域づくり団体の支援・連携の推進	1,855,000	2,110,000	-255,000	
2-1 地域活性化に取り組む団体の支援と育成	1,564,000	1,860,000	-296,000	地域づくり団体支援、山北PR活動、地域産物流通促進、福祉まつり支援、買物困難者支援事業
2-2 地域づくり団体との連携推進	291,000	250,000	41,000	環境美化活動、産業体験ツアー
3 地域人材育成の推進	1,153,000	1,242,000	-89,000	
3-1 地域を担う人材を育成	700,000	800,000	-100,000	地域づくり楽習会、先進地視察研修、協議会活性化事業、集いの場づくりに関する事業
3-2 地域の未来を担う子どもたちの育成	453,000	442,000	11,000	地域の担い手育成事業、まちづくりへの参画
4 山北地区まちづくり協議会の安定運営	1,392,000	1,650,000	-258,000	
4-1 地域住民が結集した自主事業の実施による絆の強化	881,000	1,139,000	-258,000	百姓やってみ隊推進事業、学生インターンシップ事業
4-2 地区のつながりを育み活動を発信するための情報提供	511,000	511,000	0	まちづくり通信発行、行事カレンダー発行
3. 積立金	100,000	100,000	0	関係人口構築推進基金
4. 繰出金	1,000	1,300	-300	積立金利子を積立金へ繰出し
5. 予備費	80,000	146,500	-66,500	
合計	11,303,000	11,317,800	-14,800	

収支差引なし 0

※1 予算を流用する場合は、役員会の承認を得て行い、理事会に報告する。

令和2年度 百姓やってみ隊推進事業収支予算（案）

山北地区まちづくり協議会

【収入の部】

単位：円

項目	本年度	前年度	増減	説明
1. 繰入金	669,000	1,139,000	-470,000	
2. 補助金等	0	0	0	
1 事業補助金	0	0	0	
3. 会費等	100,000	220,000	-120,000	
1 会費	100,000	100,000	0	1,000円/回×10名×10回
2 事業負担金等	0	120,000	-120,000	
4. 事業収入	40,000	40,000	0	軽トラ市等 野菜売り上げ
5. 雑収入	0	0	0	
合計	809,000	1,399,000	-590,000	

【支出の部】

単位：円

項目	本年度	前年度	増減	説明
1. 運営費	0	0	0	
1 事務局員負担金	0	0	0	
2. 事業費	739,000	1,319,000	-580,000	
1 活動実習	553,000	1,134,000	-581,000	
1-1 実習地・活動拠点管理 作業報償費	284,000	563,000	-279,000	実習地除草作業謝礼
1-2 実習地借上げ謝礼	18,000	18,000	0	実習地の借上げ、水利利用謝礼
1-3 活動拠点施設	0	330,000	-330,000	施設賃借料、水道光熱費、電気料、光回線等
1-4 指導員謝礼	4,000	0	4,000	畑作業指導謝礼
1-5 機器損料	9,000	9,000	0	軽トラ借り上げ
1-6 需用費	100,000	135,000	-35,000	肥料、種苗、資材、燃料等
1-7 修繕料	25,000	0	25,000	
1-8 原材料費	11,000	0	11,000	
1-9 役務費	98,000	75,000	23,000	隊員活動保険、拠点施設保険、郵送用切手
1-10 負担金	4,000	4,000	0	軽トラ市出店料
1-11 備品購入費	0	0	0	
2 生業体験	186,000	185,000	1,000	
2-1 体験料・指導員謝礼	130,000	158,000	-28,000	田植え、稲刈り、林業体験、味噌づくり等
2-2 材料費	56,000	17,000	39,000	林業、釣り体験等材料費
3. 繰出金	40,000	30,000	10,000	軽トラ市等野菜売上
4. 予備費	30,000	50,000	-20,000	
合計	809,000	1,399,000	-590,000	

収支差引なし

※予算を流用する場合は、役員会の承認を得て行い、理事会に報告する。

第3号議案

山北地区まちづくり協議会役員承認について

山北地区まちづくり協議会役員について、次の者を選出したいので、承認を求めます。

役職	氏名	任期	備考 (役職における充て職等)
会 長	板垣 純一	R2. 4. 1～R4. 3. 31	日沿道山北地区活性化促進協議会理事
副 会 長	加藤 英人	R2. 4. 1～R4. 3. 31	
副 会 長	斎藤 梅子	R2. 4. 1～R4. 3. 31	日沿道山北地区活性化促進協議会監事
事務局長	斎藤 信秋	R2. 4. 1～R4. 3. 31	日沿道山北地区活性化促進協議会会員
監 事	渡辺 等	R2. 4. 1～R4. 3. 31	
監 事	菅原 義栄	R2. 4. 1～R4. 3. 31	

令和 2年 4月15日 提出

山北地区まちづくり協議会 会長 板垣 純一

本議案については、書面表決の結果の確認をもって議決することとする。